

MEDIA ALERT

2013年9月13日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

国内の実績ずらり!メガソーラーマップを公開

全国45か所、100MW分のメガソーラープロジェクトを掲載

【東京-2013年9月13日】-ソーラーフロンティア株式会社(社長: 玉井裕人、本社: 東京都港区台場2-3-2、以下: ソーラーフロンティア)は、2013年9月13日より同社ホームページ上で、日本国内でのメガソーラー設置実績をまとめた「ソーラーフロンティア メガソーラーマップ」を公開いたしましたのでお知らせいたします。

今回公開されたメガソーラーマップは、ソーラーフロンティア製CIS薄膜太陽電池モジュールが使用されているメガソーラーの一部を紹介しており、マップには北海道から鹿児島まで日本各地の計101.8MW、45か所のメガソーラーの情報が盛り込まれています。同マップはどなたでも閲覧が可能となっています。今後はその他のメガソーラー事例なども同マップに随時追加していく予定で、CIS薄膜太陽電池モジュールの導入をお考えのお客様に活用していただければと考えています。

ソーラーフロンティアは、独自技術で開発したCIS薄膜太陽電池モジュールを世界規模で生産、販売しています。CIS薄膜太陽電池モジュールは、発電量の多さが特長でこれまで住宅用や産業用を問わず、様々な場所で設置されてきました。ソーラーフロンティアは、CIS薄膜太陽電池モジュールを使ったシステム販売、発電事業などにも取り組んでおり、太陽光発電システムに関わる包括的かつ付加価値の高いエネルギーソリューションの提供を目指しています。

以上

【メガソーラーマップ】

URL: http://www.solar-frontier.com/jpn/megasolar/results/index.html



※ 掲載されているメガソーラーは弊社のCIS薄膜太陽電池を提供しているプロジェクトの一部です。

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の 100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011 年 2 月より商業生産を開始した国富工場(年産能力 900 メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売する CIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVm 認証(JIS Q 8901)」などの第 3 者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第 2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては当社ホームページをご覧ください。当社公式のブログ、Facebook、Twitterでも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

ソーラーフロンティア株式会社 広報部 中島 TEL: 03-5531-5792